

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名

成田市立中台中学校

1 学校教育目標

「自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成」

2 本年度の重点化された具体的な目標

- ◎学力の向上を図る
- ◎生徒理解と積極的な生徒指導の充実を図る
- ◎信頼される学校づくりを図る

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育課程・学習指導	子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。	生徒による授業評価アンケートの結果をもとに授業改善を進め、肯定的回答が73.1%となっている。	B	定期テスト・単元テストの取り扱いを見直し、また、実力テストを有効に活用するなど、集中して学習に取り組む期間を増やす。
教育課程・学習指導	子どもは合唱コンクール、体育祭、校外学習などの学校行事を楽しみにし、積極的に参加している。	行事ごとに教職員による成果と課題の確認をして改善に努めており、94.4%の肯定的回答を得ている。	A	引き続き行事の成果と課題の確認をし、教科等とのつながりをもたせていく。
生徒指導	学校は、子どものことについて本人や保護者からの相談に適切に応じている。	教育相談の実施、こまめな家庭連絡・家庭訪問を実施することにより、90.8%の肯定的回答を得ている。	A	個別の事案に真摯に取り組むことはもとより、集団としての育ちを念頭に置き、所属意識を高めたり、自己有用感を高めたりしていく。
生徒指導	先生は子どもの置かれている状況や子どもの感じていること・考えていることを理解しようとしている。	やりとり帳からの情報収集、クラス・部活動などでの人間関係を観察するなど実態の把握に努め、85.3%の肯定的回答を得ている。	B	引き続き実態把握に努めるとともに、生徒理解のメインについて研修の機会を設ける。
家庭・地域との連携	学校は保護者・地域の願いに答えている。	家庭連絡、個別の面談などを通して願いの把握に努め、95.3%の肯定的回答を得ている。	A	表に出ている「願い」の把握はもとより、行間に潜む願いなどにも思いを馳せ、共感的態度で保護者・地域に寄り添っていく。
家庭・地域との連携	学校は、子どもの様子などを学校・学年・学級通信や保護者会等で伝えている。	特に学級通信の発行頻度が高く、98.1%の肯定的回答を得ている。	A	伝えるべき内容を精査し、発行方法(デジタル配信)を念頭に置いた新しい紙面作りに取り組む。

4 自己評価の結果の分析

- ・行事等に関する肯定的回答が高い一方で、学習に関する肯定的評価は低くはないものの、課題が見られる。学力の二層化などに対応した、個別最適な学びを構築する必要性が高い。
- ・生徒指導に関する肯定的回答は高いが、個別の事例を見ていくと、組織的な対応が不足している点是否定できない。専門機関などとの連携を推し進め、多面的な視点で支援していくことが求められる。
- ・家庭・地域との連携に関しては高い評価を得ている。今後も、家庭・地域の「願い」に耳を傾け、教育活動に取り込んでいくことを怠らないようにしたい。